

研究機関：広島大学病院

研究課題名	血友病薬害被害患者の生活に関する聞き取り調査
研究責任者名	広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久
研究期間	令和2年7月7日(倫理委員会承認後)～令和5年3月31日
対象者	本院で実施している中四国内に在住する血友病薬害被害患者を対象とした検査入院を利用された患者さんのうち、研究協力の同意を得られた患者さんを対象としています。
意義・目的	血友病薬害被害患者さんの長期にわたる療養生活に伴い、高齢化や身体的諸症状について支援が必要な現状があります。本院では、平成28年から中国四国内に在住する血友病薬害被害患者さんを対象とした検査入院を実施し、HIV感染症のみならず血友病、C型肝炎やそれらに関する合併症を専門医が評価し、治療につなげています。血友病薬害被害患者さんはそれぞれが生活する地域や年代等の生活状況によって、個々に抱えている様々な課題が問題視されることがあります。本研究では、検査入院を利用された患者さんにインタビューを協力頂き、その語られた言葉から、生活課題を見出すことに意義があります。そして患者さんの生活課題から、今後の治療の方向性を検討することを目的としています。
方法	本研究は、患者さんへのインタビュー面接時の録音データと検査入院後のアンケート回答ならびに診療録（カルテ）情報をもとに行います。 カルテから使用する内容は、CD4数、ウイルス量、補充療法の状況、就労状況、運動・生活習慣、ADL項目について使用します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院輸血部 准教授 藤井 輝久
個人情報の保護について	研究で使用した内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5351 広島大学病院エイズ医療対策室 職名 リサーチレジデント 大成 杏子、佐々木 美希 、心理カウンセラー 喜花 伸子